

70代でスマホ所有率がフィーチャーフォン所有率を上回る

～最新調査でみる、シニアのデバイス所有状況～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

- 調査結果1 : 年代別、スマートフォン・フィーチャーフォン所有率
 調査結果2 : 性年代別、スマートフォン・フィーチャーフォン・
 パソコン所有状況

■ 調査結果

1ー60代でスマホ所有70%、前年比+14、70代はスマホ所有43%前年比+12

2019年1月に実施した調査の結果、ついに70代のスマートフォン（タブレットを含む）所有がフィーチャーフォン所有を上回った。また、60代は7割にスマートフォン所有率が達した（図1）。フィーチャーフォン所有率の減少が昨年は鈍化していたが、今年は大きく減少する結果となった。

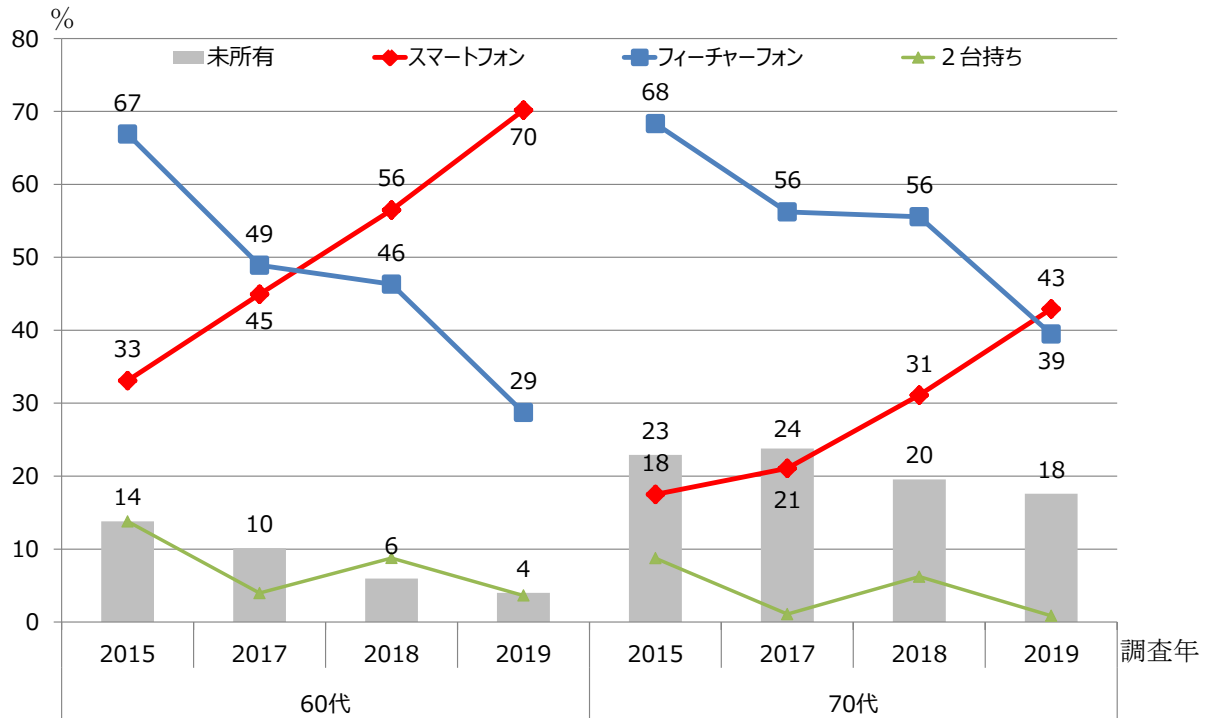


図1 シニアのスマートフォン・フィーチャーフォン所有状況

2——男性 60代はスマホ単独・スマホ&PC、70代はばらける

女性 60代はスマホ単独、70代はフィーチャーフォン単独が多数

スマホ・フィーチャーフォンと合わせて、パソコンの所有状況を確認する。

男性は、60代において、スマートフォン所有が7割を超えた。その中の半数が、パソコンも所有している。70代は、スマートフォン所有・スマートフォンとパソコン所有・フィーチャーフォン所有・全て未所有が分かれる状況。

女性は、60代の半数以上がスマートフォンの単独所有。70代の4割がフィーチャーフォン単独所有であった（図2参照）。

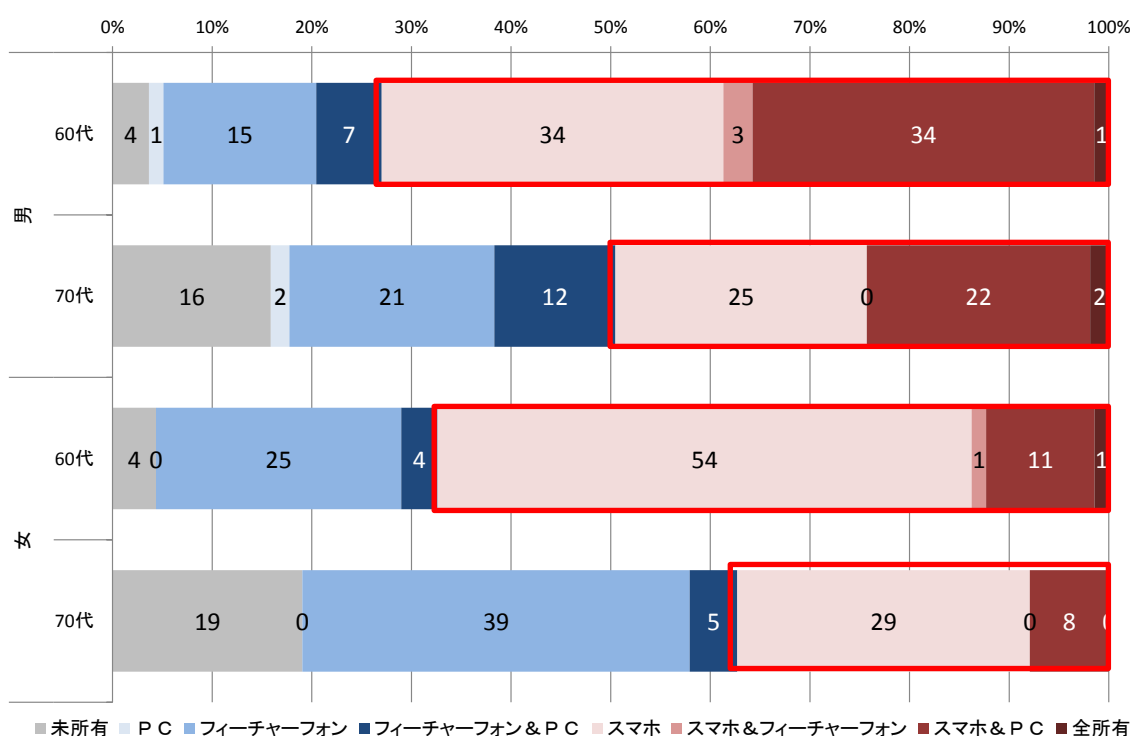


図2 シニアのICTデバイス保有状況

■調査概要（調査名 シニア調査 訪問留置調査）

調査時期 : 2019年1月 調査対象 : 関東1都6県、60～79歳男女

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都市規模で割付 506サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087